|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **小学部【体育】　目標** | | | **中学部【保健体育】　目標** | | **高等部【保健体育】　目標** | |
| 体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題に気付き，その解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し，豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 | | | 体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を見付け，その解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し，豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 | | 体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的・計画的な解決に向けた主体的・協働的な学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し，豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 | |
| **観　　点** | **1段階** | **2段階** | **3段階** | **1段階** | **2段階** | **1段階** | **2段階** |
| **知識及び技能** | 1. 遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに，基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付けるようにする。 | | | ⑴　各種の運動の特性に応じた技能等及び自分の生活における健康・安全について理解するとともに，基本的な技能を身に付けるようにする。 | | ⑴　各種の運動の特性に応じた技能等並びに個人生活及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付けるようにする。 | |
| ア　教師と一緒に，楽しく体を動かすことができるようにするとともに，健康な生活に必要な事柄ができるようにする。 | ア　教師の支援を受けながら，楽しく基本的な運動ができるようにするとともに，健康な生活に必要な事柄ができるようにする。 | ア　基本的な運動の楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付けるとともに，健康や身体の変化について知り，健康な生活ができるようにする。 | ア　各種の運動の楽しさや喜びに触れ，その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止，病気の予防などの仕方が分かり，基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 | ア　各種の運動の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止，病気の予防などの仕方について理解し，基本的な技能を身に付けるようにする。 | ア　各種の運動の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能等や心身の発育・発達，個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに，技能を身に付けるようにする。 | ア　各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能等や心身の発育・発達，個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付けるようにする。 |
| **思考力・判断力・表現力等** | ⑵　遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気付き，その解決に向けて自ら考え行動し，他者に伝える力を養う。日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け，思考力や想像力を養う。 | | | ⑵　各種の運動や健康・安全についての自分の課題を見付け，その解決に向けて自ら思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。 | | ⑵　各種の運動や健康・安全についての自他や社会の課題を発見し，その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 | |
| イ　体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに，健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。 | イ　基本的な運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに，健康な生活に向け，感じたことを他者に伝える力を養う。 | イ　基本的な運動の楽しみ方や健康な生活の仕方について工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝える力を養う。 | イ　各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付け，その解決のための活動を考えたり，工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。 | イ　各種の運動や健康な生活における自分やグループの課題を見付け，その解決のために友達と考えたり，工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。 | イ　各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを，他者に伝える力を養う。 | イ　各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 |
| **学びに向かう力・人間性等** | ⑶　遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し，楽しく明るい生活を営む態度を養う。 | | | ⑶　生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かな生活を営む態度を養う。 | | ⑶　生涯にわたって継続して運動に親しむことや，健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 | |
| ウ　簡単な合図や指示に従って，楽しく運動をしようとしたり，健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。 | ウ　簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく運動をしようとしたり，健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。 | ウ　きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しく運動をしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとするとともに，自分から健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。 | ウ　各種の運動に進んで取り組み，きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り，友達と協力したり，場や用具の安全に留意したりし，最後まで楽しく運動をする態度を養う。また，健康・安全の大切さに気付き，自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。 | ウ　各種の運動に積極的に取り組み，きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り，友達と助け合ったり，場や用具の安全に留意したりし，自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また，健康・安全の大切さに気付き，自己の健康の保持増進と回復に進んで取り組む態度を養う。 | ウ　各種の運動における多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自己の最善を尽くして自主的に運動をする態度を養う。また，健康・安全に留意し，健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。 | ウ　各種の運動における多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また，健康・安全に留意し，健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **小学校【体育】 目標** | | | **中学校【保健体育】 目標** |
| 体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を見付け，その解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 | | | 体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 |
| **１・２年** | **３・４年** | **５・６年** | **１年** |
| **知識及び技能** | (1) 各種の運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，基本的な動きを身に付けるようにする。 | (1) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに，基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 | (1) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方及び心の健康やけがの防止，病気の予防について理解するとともに，各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。 | （1） 運動の合理的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを味わい，運動を豊かに実践することができるようにするため，運動，体力の必要性について理解するとともに，基本的な技能を身に付けるようにする。 |
| **思考力・判断力・表現力等** | (2) 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに，考えたことを他者に伝える力を養う。 | (2) 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け，その解決のための方法や活動を工夫するとともに，考えたことを他者に伝える力を養う。 | (2) 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け，その解決のための方法や活動を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 | （2） 運動についての自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 |
| **学びに向かう力・人間性等** | (3) 各種の運動遊びに進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，健康・安全に留意したりし，意欲的に運動をする態度を養う。 | (3) 各種の運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に留意したりし，最後まで努力して運動をする態度を養う。また，健康の大切さに気付き，自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。 | (3) 各種の運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に留意したりし，自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また，健康・安全の大切さに気付き，自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。 | （3） 運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の役割を果たす，一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに，健康・安全に留意し，自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。２ |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **小学部【体育】　内容** | | | **中学部【保健体育】　内容** | | **高等部【保健体育】　内容** | |
| **1段階【A体つくり運動遊び】** | **2段階【A体つくり運動】** | **３段階【A体つくり運動】** | **1段階【A体つくり運動】** | **2段階【A体つくり運動】** | **1段階【A体つくり運動】** | **2段階【A体つくり運動】** |
| **小学部**  **1段階**  **【A体つくり運動遊び】**  **2段階**  **【A体つくり運動】**  **３段階**  **【A体つくり運動】**  **中学部・高等部**  **1段階**  **【A体つくり運動】**  **2段階**  **【A体つくり運動】** | 体つくり運動遊びについて，次の  事項を身に付けることができるよ  う指導する。 | 体つくり運動について、次の事項  を身に付けることができるよう指  導する。 | 体つくり運動について、次の事項  を身に付けることができるよう指  導する。 | 体つくり運動について、次の事項  を身に付けることができるよう指  導する。 | 体つくり運動について、次の事項  を身に付けることができるよう指  導する。 | 体つくり運動について、次の事項  を身に付けることができるよう指  導する。 | 体つくり運動について、次の事項  を身に付けることができるよう指  導する。 |
| ア　教師と一緒に，手足を動かしたり，歩いたりして楽しく体を動かすこと。 | ア　教師の支援を受けながら，楽しく基本的な体つくり運動をすること。 | ア　基本的な体つくり運動の楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付けること。 | ア　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに，その行い方が分かり，友達と関わったり，動きを持続する能力などを高めたりすること。 | ア　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに，その行い方を理解し，友達と関わったり，動きを持続する能力などを高めたりすること。 | ア　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，その行い方や方法を理解するとともに，仲間と積極的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりすること。 | ア　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい，その行い方や方法の理解を深めるとともに，仲間と自主的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに，それらを組み合わせること。 |
| イ　手足を動かしたり，歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現すること。 | イ　基本的な体つくり運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現すること。 | イ　基本的な体つくり運動の楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えること。 | イ　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見付け，その解決のための活動を考えたり，工夫したりしたことを他者に伝えること。 | イ　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分やグループの課題を見付け，その解決のために友達と考えたり，工夫したりしたことを他者に伝えること。 | イ　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 | イ　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えること。 |
| ウ　簡単な合図や指示に従って，体つくり運動遊びをしようとすること。 | ウ　簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，基本的な体つくり運動をしようとすること。 | ウ　きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しく基本的な体つくり運動をしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとすること。 | ウ　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み，きまりを守り，友達と協力したり，場や用具の安全に留意したりし，最後まで楽しく運動をすること。 | ウ　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組み，きまりを守り，友達と助け合ったり，場や用具の安全に留意したりし，自己の力を発揮して運動をすること。 | ウ　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすること。 | ウ　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすること。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **小学校１・２年〈体つくり運動遊び〉** | **小学校３・４年〈体つくり運動〉** | **小学校５・６年〈体つくり運動〉** | **中学校１年〈体つくり運動〉** |
| 体つくりの運動遊びについて，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 | 体つくりの運動について，次の事項を身に付けることができ  るよう指導する。 | 体つくりの運動について，次の事項を身に付けることができ  るよう指導する。 | 体つくりの運動について，次の事項を身に付けることができ  るよう指導する。 |
| **体つくり運動系** | **知識・技能** | (1) 次の運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，体を動かす心地よさを味わったり，基本的な動きを身に付けたりすること。  ア　体ほぐしの運動遊びでは，手軽な運動遊びを行い，心と体の変化に気付いたり，みんなで関わり合ったりすること。  イ　多様な動きをつくる運動遊びでは，体のバランスをとる動き，体を移動する動き，用具を操作する動き，力試しの動きをすること。 | (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，体を動かす心地よさを味わったり，基本的な動きを身に付けたりすること。  ア　体ほぐしの運動では，手軽な運動を行い，心と体の変化に気付いたり，みんなで関わり合ったりすること。  イ　多様な動きをつくる運動では，体のバランスをとる動き，体を移動する動き，用具を操作する動き，力試しの動きをし，それらを組み合わせること。 | (1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，体を動かす心地よさを味わったり，体の動きを高めたりすること。  ア　体ほぐしの運動では，手軽な運動を行い，心と体との関係に気付いたり，仲間と関わり合ったりすること。  イ　体の動きを高める運動では，ねらいに応じて，体の柔らかさ，巧みな動き，力強い動き，動きを持続する能力を高めるための運動をすること。 | （1） 次の運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，体つくり運動の意義と行い方，体の動きを高める方法などを理解し，目的に適した運動を身に付け，組み合わせること。  ア 　体ほぐしの運動では，手軽な運動を行い，心と体との関係や心身の状態に気付き，仲間と積極的に関わり合うこと。  イ 　体の動きを高める運動では，ねらいに応じて，体の柔らかさ，巧みな動き，力強い動き，動きを持続する能力を高めるための運動を行うとともに，それらを組み合わせること。 |
| **思考力・判断力・表現力等** | (2) 体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えること。 | (2) 自己の課題を見付け，その解決のための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えること。 | (2) 自己の体の状態や体力に応じて，運動の行い方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 | （2） 自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 |
| **学びに向かう力、人間性等** | (3) 運動遊びに進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，場の安全に気を付けたりすること。 | (3) 運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりすること。 | (3) 運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったりすること。 | （3） 体つくり運動に積極的に取り組むとともに，仲間の学習を援助しようとすること，一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとすること，話合いに参加しようとすることなどや，健康・安全に気を配ること。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **小学部【体育】　内容** | | | **中学部【保健体育】　内容** | | **高等部【保健体育】　内容** | |
| **1段階**  **【Ｂ器械・器具を使っての遊び】** | **2段階**  **【Ｂ器械・器具を使っての運動】** | **３段階**  **【Ｂ器械・器具を使っての運動】** | **1段階**  **【Ｂ器械・器具を使っての運動】** | **2段階**  **【Ｂ器械・器具を使っての運動】** | **1段階**  **【Ｂ器械・器具を使っての運動】** | **2段階**  **【Ｂ器械・器具を使っての運動】** |
| **小学部**  **1段階**  **【Ｂ器械・器具を使っての遊び】**  **2段階**  **【Ｂ器械・器具を使っての運動】**  **３段階**  **【Ｂ器械・器具を使っての運動】**  **中学部・高等部**  **1段階**  **【Ｂ器械・器具を使っての運動】**  **2段階**  **【Ｂ器械・器具を使っての運動】** | 器械・器具を使っての遊びについ  て、次の事項を身に付けることが  できるよう指導する。 | 器械・器具を使っての運動につい  て、次の事項を身に付けることが  できるよう指導する。 | 器械・器具を使っての運動につい  て、次の事項を身に付けることが  できるよう指導する。 | 器械運動について、次の事項を身  に付けることができるよう指導す  る。 | 器械運動について、次の事項を身  に付けることができるよう指導する。 | 器械運動について、次の事項を身  に付けることができるよう指導する。 | 器械運動について、次の事項を身  に付けることができるよう指導する。 |
| ア　教師と一緒に，器械・器具を使って楽しく体を動かすこと。 | ア　教師の支援を受けながら，楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をすること。 | ア　器械・器具を使っての基本的な運動の楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付けること。 | ア　器械・器具を使った運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方が分かり，基本的な動きや技を身に付けること。 | ア　器械運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解し，基本的な技を身に付けること。 | ア　器械運動の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けること。 | ア　器械運動の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技を身に付け，演技すること。 |
| イ　器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現すること。 | イ　器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現すること。 | イ　器械・器具を使っての基本的な運動の行い方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えること。 | イ　器械・器具を使った運動についての自分の課題を見付け，その解決のための活動を考えたり，工夫したりしたことを他者に伝えること。 | イ　器械運動についての自分やグループの課題を見付け，その解決のために友達と考えたり，工夫したりしたことを他者に伝えること。 | イ　器械運動についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 | イ　器械運動についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や  状況に応じて他者に伝えること。 |
| ウ　簡単な合図や指示に従って，器械・器具を使っての遊びをしようとすること | ウ　簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，器械・器具を使っての基本的な運動をしようとすること。 | ウ　きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしたり，場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとすること。 | ウ　器械・器具を使った運動に進んで取り組み，きまりを守り，友達と協力したり，場や器械・器具の安全に留意したりし，最後まで楽しく運動をすること。 | ウ　器械運動に積極的に取り組み，きまりを守り，友達と助け合ったり，場や器械・器具の安全に留意したりし，自己の力を発揮して運動をすること。 | ウ　器械運動の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や器械・器具の安全を確保したりし，自主的に運動をすること。 | ウ　器械運動の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や器械・器具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすること。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | **小学校１・２年〈器械・器具を使っての運動遊び〉** | **小学校３・４年〈器械運動〉** | **小学校５・６年〈器械運動〉** | **中学校〈器械運動〉** |
| **器械運動系** |  | 器械・器具を使っての運動遊びについて，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 | 器械運動について，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 | 器械運動について，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 | 器械運動について，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 |
| **知識・技能** | (1) 次の運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けること。  ア　固定施設を使った運動遊びでは，登り下りや懸垂移行，渡り歩きや跳び下りをすること。  イ　マットを使った運動遊びでは，いろいろな方向への転がり，手で支えての体の保持や回転をすること。  ウ　鉄棒を使った運動遊びでは，支持しての揺れや上がり下り，ぶら下がりや易しい回転をすること。  エ　跳び箱を使った運動遊びでは，跳び乗りや跳び下り，手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをすること。 | (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，体を動かす心地よさを味わったり，基本的な動きを身に付けたりすること。  ア　体ほぐしの運動では，手軽な運動を行い，心と体の変化に気付いたり，みんなで関わり合ったりすること。  イ　多様な動きをつくる運動では，体のバランスをとる動き，体を移動する動き，用具を操作する動き，力試しの動きをし，それらを組み合わせること。 | (1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，体を動かす心地よさを味わったり，体の動きを高めたりすること。  ア　体ほぐしの運動では，手軽な運動を行い，心と体との関係に気付いたり，仲間と関わり合ったりすること。  イ　体の動きを高める運動では，ねらいに応じて，体の柔らかさ，巧みな動き，力強い動き，動きを持続する能力を高めるための運動をすること。 | （1） 次の運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，体つくり運動の意義と行い方，体の動きを高める方法などを理解し，目的に適した運動を身に付け，組み合わせること。  ア 　体ほぐしの運動では，手軽な運動を行い，心と体との関係や心身の状態に気付き，仲間と積極的に関わり合うこと。  イ 　体の動きを高める運動では，ねらいに応じて，体の柔らかさ，巧みな動き，力強い動き，動きを持続する能力を高めるための運動を行うとともに，それらを組み合わせること。 |
| **思考力・判断力・表現力等** | (2) 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えること。 | (2) 自己の課題を見付け，その解決のための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えること。 | (2) 自己の体の状態や体力に応じて，運動の行い方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 | （2） 自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 |
| **学びに向かう力、人間性等** | (3) 運動遊びに進んで取り組み，順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。 | (3) 運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりすること。 | (3) 運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったりすること。 | （3） 体つくり運動に積極的に取り組むとともに，仲間の学習を援助しようとすること，一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとすること，話合いに参加しようとすることなどや，健康・安全に気を配ること。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **小学部【体育】　内容** | | | **中学部【保健体育】　内容** | | **高等部保【保健体育】　内容** | |
| **1段階【Ｃ走・跳の運動遊び】** | **2段階【Ｃ走・跳の運動】** | **３段階【Ｃ走・跳の運動】** | **1段階【Ｃ陸上競技】** | **2段階【Ｃ陸上競技】** | **1段階【Ｃ陸上競技】** | **2段階【Ｃ陸上競技】** |
| **小学部**  **1段階**  **【Ｃ走・跳の運動遊び】**  **2段階**  **【Ｃ走・跳の運動】**  **３段階**  **【Ｃ走・跳の運動】**  **中学部・高等部**  **1段階**  **【Ｃ陸上競技】**  **2段階**  **【Ｃ陸上競技】** | 走・跳の運動遊びについて、次の  事項を身に付けるよう指導する。 | 走・跳の運動について、次の事項  を身に付けるよう指導する。 | 走・跳の運動について、次の事項  を身に付けるよう指導する。 | 陸上運動について、次の事項を身  に付けるよう指導する。 | 陸上運動について、次の事項を身  に付けるよう指導する。 | 陸上競技について、次の事項を身  に付けるよう指導する。 | 陸上競技について、次の事項を身  に付けるよう指導する |
| ア　教師と一緒に，走ったり，跳んだりして楽しく体を動かすこと。 | ア　教師の支援を受けながら，楽しく走・跳の基本的な運動をすること。 | ア　走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付けること。 | ア　陸上運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方が分かり，基本的な動きや技能を身に付けること。 | ア　陸上運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解し，基本的な技能を身に付けること。 | ア　陸上競技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けること。 | ア　陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付けること。 |
| イ　走ったり，跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現すること。 | イ　走・跳の基本的な運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現すること。 | イ　走・跳の基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えること。 | イ　陸上運動についての自分の課題を見付け，その解決のための活動を考えたり，工夫したりしたことを他者に伝えること。 | イ　陸上運動についての自分やグループの課題を見付け，その解決のために友達と考えたり，工夫したりしたことを他者に伝えること。 | イ　陸上競技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 | イ　陸上競技についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えること。 |
| ウ　簡単な合図や指示に従って，走・跳の運動遊びをしようとすること。 | ウ　簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，走・跳の基本的な運動をしようとすること。 | ウ　きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しく走・跳の基本的な運動をしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとすること。 | ウ　陸上運動に進んで取り組み，きまりを守り，友達と協力したり，場や用具の安全に留意したりし，最後まで楽しく運動をすること。 | ウ　陸上運動に積極的に取り組み，きまりを守り，友達と助け合ったり，場や用具の安全に留意したりし，自己の力を発揮して運動をすること。 | ウ　陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすること。 | ウ　陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすること。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | **小学校１・２年〈走・跳の運動遊び〉** | **小学校３・４年〈走・跳の運動〉** | **小学校５・６年〈陸上運動〉** | **中学校〈陸上競技〉** |
| **陸上系** |  | 走・跳の運動遊びについて，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 | 走・跳の運動について，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 | 陸上運動について，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 | 陸上競技について，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 |
| **知識・技能** | 1. 次の運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けること。   ア　走の運動遊びでは，いろいろな方向に走ったり，低い障害物を走り越えたりすること。  イ　跳の運動遊びでは，前方や上方に跳んだり，連続して跳んだりすること。 | (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けること。  ア　かけっこ・リレーでは，調子よく走ったりバトンの受渡しをしたりすること。  イ　小型ハードル走では，小型ハードルを調子よく走り越えること。  ウ　幅跳びでは，短い助走から踏み切って跳ぶことエ　高跳びでは，短い助走から踏み切って跳ぶこと。 | (1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，その技能を身に付けること。  ア　短距離走・リレーでは，一定の距離を全力で走ったり，滑らかなバトンの受渡しをしたりすること。  イ　ハードル走では，ハードルをリズミカルに走り越えること。  ウ　走り幅跳びでは，リズミカルな助走から踏み切って跳ぶこと。  エ　走り高跳びでは，リズミカルな助走から踏み切って跳ぶこと。 | 1. 次の運動について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，陸上競技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに，基本的な動きや効率のよい動きを身に付けること。   ア 　短距離走・リレーでは，滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡しでタイミングを合わせること，長距離走では，ペースを守って走ること，ハードル走では，リズミカルな走りから滑らかにハードルを越すこと。  イ 　走り幅跳びでは，スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶこと，走り高跳びでは，リズミカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶこと。 |
| **思考力・判断力・表現力等** | (2) 走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えること。 | (2) 自己の能力に適した課題を見付け，動きを身に付けるための活動や競争の仕方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えること。 | (2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方，競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 | （2） 動きなどの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えること。 |
| **学びに向かう力、人間性等** | (3) 運動遊びに進んで取り組み，順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，場の安全に気を付けたりすること。 | (3) 運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりすること。 | (3) 運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，勝敗を受け入れたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったりすること。 | （3） 陸上競技に積極的に取り組むとともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどや，健康・安全に気を配ること。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **小学部【体育】　内容** | | | **中学部【保健体育】　内容** | | **高等部【保健体育】　内容** | |
| **1段階【Ｄ水遊び】** | **2段階【Ｄ水の中での運動】** | **３段階【Ｄ水の中での運動】** | **1段階【Ｄ水泳】** | **2段階【Ｄ水泳】** | **1段階【Ｄ水泳】** | **2段階【Ｄ水泳】** |
| **小学部**  **１段階**  **【Ｄ水遊び】**  **２段階**  **【Ｄ水の中での運動】**  **３段階**  **【Ｄ水の中での運動】**  **中学部・高等部**  **１段階**  **【Ｄ水泳】**  **２段階**  **【Ｄ水泳】** | 水遊びについて、次の事項を身に  付けるよう指導する。 | 水の中での運動について、次の事  項を身に付けるよう指導する。 | 水の中での運動について、次の  事項を身に付けるよう指導す  る。 | 水泳運動について、次の事項を身  に付けるよう指導する。 | 水泳運動について、次の事項を身  に付けるよう指導する。 | 水泳について、次の事項を身に付  けるよう指導する。 | 水泳について、次の事項を身に付  けるよう指導する。 |
| ア　教師と一緒に，水の特性を生かした簡単な水遊びを楽しくすること。 | ア　教師の支援を受けながら，楽しく水の中での基本的な運動をすること。 | ア　水の中での基本的な運動の楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付けること。 | ア　初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ，その行い方が分かり，基本的な動きや技能を身に付けること。 | ア　水泳運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解し，基本的な技能を身に付けること。 | ア　水泳の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けること。 | ア　水泳の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた泳法を身に付けること。 |
| イ　水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現すること。 | イ　水の中での基本的な運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現すること。 | イ　水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えること。 | イ　初歩的な泳ぎについての自分の課題を見付け，その解決のための活動を考えたり，工夫したりしたことを他者に伝えること。 | イ　水泳運動についての自分やグループの課題を見付け，その解決のために友達と考えたり，工夫したりしたことを他者に伝えること。 | イ　水泳についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 | イ　水泳についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えること。 |
| ウ　簡単な合図や指示に従って，水遊びをしようとすること。 | ウ　簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，水の中での基本的な運動をしようとすること。 | ウ　きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとすること。 | ウ　初歩的な泳ぎに進んで取り組み，きまりなどを守り，友達と協力したり，場や用具の安全に留意したりし，最後まで楽しく運動をすること。 | ウ　水泳運動に積極的に取り組み，きまりなどを守り，友達と助け合ったり，場や用具の安全に留意したりし，自己の力を発揮して運動をすること。 | ウ　水泳の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすること。 | ウ　水泳の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすること。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | **小学校１・２年〈水遊び〉** | **小学校３・４年〈水泳運動〉** | **小学校５・６年〈水泳運動〉** | **中学校〈水泳〉** |
| **水泳系** |  | 水遊びについて，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 | 水泳運動について，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 | 水泳運動について，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 | 水泳について，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 |
| **知識・技能** | (1) 次の運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けること。  ア　水の中を移動する運動遊びでは，水につかって歩いたり走ったりすること。  イ　もぐる・浮く運動遊びでは，息を止めたり吐いたりしながら，水にもぐったり浮いたりすること。 | (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けること。  ア　浮いて進む運動では，け伸びや初歩的な泳ぎをすること。  イ　もぐる・浮く運動では，息を止めたり吐いたりしながら，いろいろなもぐり方や浮き方をすること。 | (1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，その技能を身に付けること。  ア　クロールでは，手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。  イ　平泳ぎでは，手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。  ウ　安全確保につながる運動では，背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く浮くこと。 | （1） 次の運動について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，水泳の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに，泳法を身に付けること。  ア 　クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。  イ 　平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。  ウ 　背泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり泳ぐこと。  エ 　バタフライでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり泳ぐこと。 |
| **思考力・判断力・表現力等** | (2) 水の中を移動したり，もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えること。 | (2) 自己の能力に適した課題を見付け，水の中での動きを身に付けるための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えること。 | (2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 | （2） 泳法などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えること。 |
| **学びに向かう力、人間性等** | (3) 運動遊びに進んで取り組み，順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，水遊びの心得を守って安全に気を付けたりすること。 | (3) 運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，水泳運動の心得を守って安全に気を付けたりすること。 | (3) 運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，水泳運動の心得を守って安全に気を配ったりすること。 | （3） 水泳に積極的に取り組むとともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどや，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ること。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **小学部【体育】　内容** | | | **中学部【保健体育】　内容** | | **高等部【保健体育】　内容** | |
| **1段階【Ｅボール遊び】** | **2段階**  **【Ｅボールを使った運動やゲーム】** | **３段階**  **【Ｅボールを使った運動やゲーム】** | **1段階【Ｅ球技】** | **2段階【Ｅ球技】** | **1段階【Ｅ球技】** | **2段階【Ｅ球技】** |
| **小学部**  **１段階【Ｅボール遊び】**  **２段階【Ｅボールを使った運動やゲーム】**  **３段階【Ｅボールを使った運動やゲーム】**  **中学部・高等部**  **１段階【Ｅ球技**  **２段階【Ｅ球技】** | ボール遊ぶについて、次の事項を  身に付けるよう指導する。 | ボールを使った運動やゲームにつ  いて、次の事項を身に付けるよう  指導する。 | ボールを使った運動やゲームにつ  いて、次の事項を身に付けるよう  指導する。 | 球技について、次の事項を身に付けるよう指導する。 | 球技について、次の事項を身に付けるよう指導する。 | 球技について、次の事項を身に付けるよう指導する。 | 球技について、次の事項を身に付けるよう指導する。 |
| ア　教師と一緒に，ボールを使って楽しく体を動かすこと。 | ア　教師の支援を受けながら，楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすること。 | ア　ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付けること。 | ア　球技の楽しさや喜びに触れ，その行い方が分かり，基本的な動きや技能を身に付け，簡易化されたゲームを行うこと。 | ア　球技の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解し，基本的な技能を身に付け，簡易化されたゲームを行うこと。 | ア　球技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け，簡易化されたゲームを行うこと。 | ア　球技の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付け，ゲームを行うこと。 |
| イ　ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現すること。 | イ　ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ，その楽しさや感じたことを表現すること。 | イ　ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えること。 | イ　球技についての自分の課題を見付け，その解決のための活動を考えたり，工夫したりしたことを他者に伝えること。 | イ　球技についての自分やチームの課題を見付け，その解決のために友達と考えたり，工夫したりしたことを他者に伝えること。 | イ　球技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 | イ　球技についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えること。 |
| ウ　簡単な合図や指示に従って，ボール遊びをしようとすること。 | ウ　簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすること。 | ウ　きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとすること。 | ウ　球技に進んで取り組み，きまりや簡単なルールを守り，友達と協力したり，場や用具の安全に留意したりし，最後まで楽しく運動をすること。 | ウ　球技に積極的に取り組み，きまりや簡単なルールを守り，友達と助け合ったり，場や用具の安全に留意したりし，自己の力を発揮して運動をすること。 | ウ　球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすること。 | ウ　球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすること |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **小学校１・２年〈ゲーム〉** | **小学校３・４年〈ゲーム〉** | **小学校５・６年〈ボール運動〉** | **中学校〈球技〉** |
| ゲームについて，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 | ゲームについて，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 | ボール運動について，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 | 球技について，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 |
| **ゲーム球技系** | **知識・技能** | (1) 次の運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，易しいゲームをすること。  ア　ボールゲームでは，簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって，易しいゲームをすること。  イ　鬼遊びでは，一定の区域で，逃げる，追いかける，陣地を取り合うなどをすること。 | (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとと　もに，易しいゲームをすること。  ア　ゴール型ゲームでは，基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって，易しいゲームをすること。  イ　ネット型ゲームでは，基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって，易しいゲームをすること。  ウ　ベースボール型ゲームでは，蹴る，打つ，捕る，投げるなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって，易しいゲームをすること。 | (1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，その技能を身に付け，簡易化されたゲームをすること。  ア　ゴール型では，ボール操作とボールを持たないときの動きによって，簡易化されたゲームをすること。  イ　ネット型では，個人やチームによる攻撃と守備によって，簡易化されたゲームをすること。  ウ　ベースボール型では，ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって，簡易化されたゲームをすること。 | （1） 次の運動について，勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに，基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。  ア 　ゴール型では，ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。  イ 　ネット型では，ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。  ウ 　ベースボール型では，基本的なバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすること。 |
| **思考力・判断力・表現力等** | (2) 簡単な規則を工夫したり，攻め方を選んだりするとともに，考えたことを友達に伝えること。 | (2) 規則を工夫したり，ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに，考えたことを友達に伝えること。 | (2) ルールを工夫したり，自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 | （2） 攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 |
| **学びに向かう力、人間性等** | (3) 運動遊びに進んで取り組み，規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，場や用具の安全に気を付けたりすること。 | (3) 運動に進んで取り組み，規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気をつけたりすること。 | (3) 運動に積極的に取り組み，ルールを守り助け合って運動をしたり，勝敗を受け入れたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったりすること。 | （3） 球技に積極的に取り組むとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，作戦などについての話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすることなどや，健康・安全に気を配ること。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **小学部【体育】　内容** | | | **中学部【保健体育】　内容** | | **高等部【保健体育】　内容** | |
| **1段階** | **2段階** | **３段階** | **1段階【F武道】** | **2段階【F武道】** | **1段階【F武道】** | **2段階【F武道】** |
| **武道** | － | － | － | 武道について、次の事項を身に付  けるよう指導する。 | 武道について、次の事項を身に付  けるよう指導する。 | 武道について、次の事項を身に付  けるよう指導する。 | 武道について、次の事項を身に付  けるよう指導する。 |
| － | － | － | ア　武道の楽しさを感じ，その行い方や伝統的な考え方が分かり，基本動作や基本となる技を用いて，簡易な攻防を展開すること。 | ア　武道の楽しさや喜びに触れ，その行い方や伝統的な考え方を理解し，基本動作や基本となる技を用いて，簡易な攻防を展開すること。 | ア　武道の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに，基本動作や基本となる技を用いて，簡易な攻防を展開すること。 | ア　武道の楽しさや喜びを深く味わい，その特性に応じた技能の理解を深めるとともに，基本動作や基本となる技を用いて，相手の動きの変化に応じた攻防を展開すること。 |
| － | － | － | イ　武道についての自分の課題を見付け，その解決のための活動を考えたり，工夫したりしたことを他者に伝えること。 | イ　武道についての自分やグループの課題を見付け，その解決のために友達と考えたり，工夫したりしたことを他者に伝えること。 | イ　武道についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 | イ　武道についての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えること。 |
| － | － | － | ウ　武道に進んで取り組み，きまりや伝統的な行動の仕方を守り，友達と協力したり，場や用具の安全に留意したりし，最後まで楽しく運動をすること。 | ウ　武道に積極的に取り組み，きまりや伝統的な行動の仕方を守り，友達と助け合ったり，場や用具の安全に留意したりし，自己の力を発揮して運動をすること。 | ウ　武道の多様な経験を通して，きまりや伝統的な行動の仕方を守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすること。 | ウ　武道の多様な経験を通して，きまりや伝統的な行動の仕方を守り，自己の役割を果たし仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすること。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **小学校１・２年** | **小学校３・４年** | **小学校５・６年** | **中学校〈武道〉** |
| － | － | － | 武道について、次の事項を身に付けることができるよう指導  する。 |
| **武道** | **知識・技能** | － | － | － | （1） 次の運動について，技ができる楽しさや喜びを味わい，武道の特性や成り立ち，伝統的な考え方，技の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに，基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開すること。  ア 　柔道では，相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて，投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすること。  イ 　剣道では，相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて，打ったり受けたりするなどの簡易な攻防をすること。  ウ 　相撲では，相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて，押したり寄ったりするなどの簡易な攻防をすること。 |
| **思考力・判断力・表現力等** | － | － | － | （2） 攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えること。 |
| **学びに向かう力、人間性等** | － | － | － | （3） 武道に積極的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどや，禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ること。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **小学部【体育】　内容** | | | **中学部【保健体育】　内容** | | **高等部【保健体育】　内容** | |
| **1段階【Ｆ表現遊び】** | **2段階【Ｆ表現運動】** | **３段階【Ｆ表現運動】** | **1段階【Gダンス】** | **2段階【Gダンス】** | **1段階【Gダンス】** | **2段階【Gダンス】** |
| **小学部**  **１段階**  **【Ｆ表現遊び】**  **２段階**  **【Ｆ表現運動】**  **３段階**  **【Ｆ表現運動】**  **中学部・高等部**  **１段階**  **【Ｇダンス】**  **２段階**  **【Ｇダンス】** | 表現遊びについて、次の事項を身  に付けるよう指導する。 | 表現運動について、次の事項を身  に付けるよう指導する。 | 表現運動について、次の事項を身  に付けるよう指導する。 | ダンスについて、次の事項を身に付けるよう指導する。 | ダンスについて、次の事項を身に付けるよう指導する。 | ダンスについて、次の事項を身に付けるよう指導する。 | ダンスについて、次の事項を身に付けるよう指導する。 |
| ア　教師と一緒に，音楽の流れている場所で楽しく体を動かすこと。 | ア　教師の支援を受けながら，音楽に合わせて楽しく表現運動をすること。 | ア　基本的な表現運動の楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付け，表現したり踊ったりすること。 | ア　ダンスの楽しさや喜びに触れ，その行い方が分かり，基本的な動きや技能を身に付け，表現したり踊ったりすること。 | ア　ダンスの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解し，基本的な技能を身に付け，表現したり踊ったりすること。 | ア　ダンスの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，技能を身に付け，表現や踊りを通した交流をすること。 | ア　ダンスの楽しさや喜びを深く味わい，その行い方の理解を深めるとともに，目的に応じた技能を身に付け，表現や踊りを通した交流や発表をすること。 |
| イ　音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現すること。 | イ　基本的な表現運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現すること。 | イ　基本的な表現運動の楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えること。 | イ　ダンスについての自分の課題を見付け，その解決のための活動を考えたり，工夫したりしたことを他者に伝えること。 | イ　ダンスについての自分やグループの課題を見付け，その解決のために友達と考えたり，工夫したりしたことを他者に伝えること。 | イ　ダンスについての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 | イ　ダンスについての自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えること。 |
| ウ　簡単な合図や指示に従って，表現遊びをしようとすること。 | ウ　簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，基本的な表現運動をしようとすること。 | ウ　きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しく表現運動をしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとすること。 | ウ　ダンスに進んで取り組み，友達の動きを認め協力したり，場や用具の安全に留意したりし，最後まで楽しく運動をすること。 | ウ　ダンスに積極的に取り組み，友達のよさを認め助け合ったり，場や用具の安全に留意したりし，自己の力を発揮して運動をすること。 | ウ　ダンスの多様な経験を通して，仲間の表現を認め助け合ったり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすること。 | ウ　ダンスの多様な経験を通して，一人一人の表現や役割を認め助け合ったり，場や用具の安全を確保したりし，見通しをもって自主的に運動をすること。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | **小学校１・２年〈表現リズム遊び〉** | **小学校３・４年〈表現運動〉** | **小学校５・６年〈表現運動〉** | **中学校〈ダンス〉** |
| 表現リズム遊びについて，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 | 表現運動について，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 | 表現運動について，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 | ダンスについて，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 |
| **表現運動系** | **知識・技能** | (1) 次の運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，題材になりきったりリズムに乗ったりして踊ること。  ア　表現遊びでは，身近な題材の特徴を捉え，全身で踊ること。  イ　リズム遊びでは，軽快なリズムに乗って踊ること。 | (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，表したい感じを表現したりリズムに乗ったりして踊ること。  ア　表現では，身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え，表したい感じをひと流れの動きで踊ること。  イ　リズムダンスでは，軽快なリズムに乗って全身で踊ること。 | (1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，表したい感じを表現したり踊りで交流したりすること。  ア　表現では，いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え，表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり，簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすること。  イ　フォークダンスでは，日本の民踊ようや外国の踊りから，それらの踊り方の特徴を捉え，音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ること。 | （1） 次の運動について，感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい，ダンスの特性や由来，表現の仕方，その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに，イメージを捉えた表現や踊りを通した交流をすること。  ア 　創作ダンスでは，多様なテーマから表したいイメージを捉え，動きに変化を付けて即興的に表現したり，変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ること。  イ 　フォークダンスでは，日本の民踊ようや外国の踊りから，それらの踊り方の特徴を捉え，音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ること。  ウ 　現代的なリズムのダンスでは，リズムの特徴を捉え，変化のある動きを組み合わせて，リズムに乗って全身で踊ること。 |
| **思考力・判断力・表現力等** | (2) 身近な題材の特徴を捉えて踊ったり，軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えること。 | (2) 自己の能力に適した課題を見付け，題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。 | (2) 自己やグループの課題の解決に向けて，表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 | （2） 表現などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 |
| **学びに向かう力、人間性等** | (3) 運動遊びに進んで取り組み，誰とでも仲よく踊ったり，場の安全に気を付けたりすること。 | (3) 運動に進んで取り組み，誰とでも仲よく踊ったり，友達の動きや考えを認めたり，場の安全に気を付けたりすること。 | (3) 運動に積極的に取り組み，互いのよさを認め合い助け合って踊ったり，場の安全に気を配ったりすること。 | （3） ダンスに積極的に取り組むとともに，仲間の学習を援助しようとすること，交流などの話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとすることなどや，健康・安全に気を配ること。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **小学部【体育】　内容** | | | **中学部【保健体育】　内容** | | **高等部【保健体育】　内容** | |
| **1段階** | **2段階** | **３段階** | **1段階** | **2段階** | **1段階【H体育理論】** | **2段階【H体育理論】** |
| **体育理論** | － | － | － | － | － | 体育理論について、次の事項を身に付けるよう指導する。 | 体育理論について、次の事項を身に付けるよう指導する。 |
| － | － | － | － | － | ア　運動やスポーツの多様性，効果と学び方，安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気付くこと。 | ア　運動やスポーツの多様性，効果と学び方，安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に関する基礎的な知識を身に付けること。 |
| － | － | － | － | － | イ　運動やスポーツの多様性，効果と学び方，安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 | イ　運動やスポーツの多様性，効果と学び方，安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えること。 |
| － | － | － | － | － | ウ　運動やスポーツの多様性，効果と学び方，安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組むこと。 | ウ　運動やスポーツの多様性，効果と学び方，安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組むこと |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | **小学校１・２年** | **小学校３・４年** | **小学校５・６年** | **中学校〈体育理論〉** |
| **体育理論** | **知識** | － | － | － | （1） 運動やスポーツが多様であることについて，課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。  ア 　運動やスポーツが多様であることについて理解すること。  （ｱ）運動やスポーツは，体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生みだされ発展してきたこと。  （ｲ）運動やスポーツには，行うこと，見ること，支えること及び知ることなどの多様な関わり方があること。  （ｳ ）世代や機会に応じて，生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには，自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり，工夫したりすることが大切であること。 |
| **思考力・判断力・表現力等** | － | － | － | イ 　運動やスポーツが多様であることについて，自己の課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えること。 |
| **学びに向かう力、人間性等** | － | － | － | ウ 　運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むこと。 |
| **知識** | － | － | － | （2） 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について，課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。  ア 　運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解すること。  （ｱ）運動やスポーツは，身体の発達やその機能の維持，体力の向上などの効果や自信の獲得，ストレスの解消などの心理的効果及びルールやマナーについて合意したり，適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できること。  （ｲ）運動やスポーツには，特有の技術があり，その学び方には，運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があること。  （ｳ）運動やスポーツを行う際は，その特性や目的，発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど，健康・安全に留意する必要があること。 |
| **思考力・判断力・表現力等** | － | － | － | イ 　運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について，自己の課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えること。 |
| **学びに向かう力、人間性等** | － | － | － | ウ 　運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての学習に積極的に取り組むこと。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **小学部【体育】　内容** | | | **中学部【保健体育】　内容** | | **高等部【保健体育】　内容** | |
| **1段階【G保健】** | **2段階【G保健】** | **３段階【G保健】** | **1段階【H保健】** | **2段階【H保健】** | **1段階【I保健】** | **2段階【I保健】** |
| **保健** | 健康な生活に必要な事柄につい  て、次の事項を身に付けるよう指  導する。 | 健康な生活に必要な事柄につい  て、次の事項を身に付けるよう指  導する。 | 健康な生活に必要な事柄につい  て、次の事項を身に付けるよう指  導する。 | 健康・安全に関する事柄につい  て、次の事項を身に付けるよう指  導する。 | 健康・安全に関する事柄につい  て、次の事項を身に付けるよう指  導する。 | 健康・安全に関する事柄につい  て、次の事項を身に付けるよう指  導する。 | 健康・安全に関する事柄につい  て、次の事項を身に付けるよう指  導する。 |
| ア　教師と一緒に，うがいなどの健康な生活に必要な事柄をすること。 | ア　教師の支援を受けながら，健康な生活に必要な事柄をすること。 | ア　健康や身体の変化について知り，健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身に付けること。 | ア　体の発育・発達やけがの防止，病気の予防などの仕方が分かり，基本的な知識及び技能を身に付けること。 | ア　体の発育・発達やけがの防止，病気の予防などの仕方について理解し，基本的な技能を身に付けること。 | ア　心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに，健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けること。 | ア　心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに，健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けること。 |
| イ　健康な生活に必要な事柄に気付き，教師に伝えること。 | イ　健康な生活に必要な事柄に慣れ，感じたことを他者に伝えること。 | イ　健康な生活に必要な事柄について工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えること。 | イ　自分の健康・安全についての課題を見付け，その解決のための活動を考えたり，工夫したりしたことを他者に伝えること。 | イ　自分やグループの健康・安全についての課題を見付け，その解決のために友達と考えたり，工夫したりしたことを他者に伝えること。 | イ　健康・安全に関わる自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 | イ　健康・安全に関わる自他の課題を発見し，よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを，目的や状況に応じて他者に伝えること。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | **小学校１・２年** | **小学校３年** | **小学校４年** | **小学校５年** | **小学校６年** | **中学校１年** | **中学校２年** | **中学校３年** |
| **保健** | **知識** | － | 1. 健康な生活について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。   ア　健康な生活について理解すること。  (ｱ) 心や体の調子がよいなどの健康の状態は，主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていること。  (ｲ) 毎日を健康に過ごすには，運動，食事，休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること，また，体の清潔を保つことなどが必要であること。  (ｳ) 毎日を健康に過ごすには，明るさの調節，換気などの生活環境を整えることなどが必要であること。 | (2) 体の発育・発達について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。  ア　体の発育・発達について理解すること。  (ｱ) 体は，年齢に伴って変化すること。また，体の発育・発達には，個人差があること。  (ｲ) 体は，思春期になると次第に大人の体に近づき，体つきが変わったり，初経，精通などが起こったりすること。また，異性への関心が芽生えること。  (ｳ) 体をよりよく発育・発達させるには，適切な運動，食事，休養及び睡眠が必要であること。 | 1. 心の健康について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。   ア　心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに，簡単な対処をすること。  (ｱ) 心は，いろいろな生活経験を通して，年齢に伴って発達すること。  (ｲ) 心と体には，密接な関係があること。  (ｳ) 不安や悩みへの対処には，大人や友達に相談する，仲間と遊ぶ，運動をするなどいろいろな方法があること。 | 1. 病気の予防について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。   ア　病気の予防について理解すること。  (ｱ) 病気は，病原体，体の抵抗力，生活行動，環境が関わりあって起こること。  (ｲ) 病原体が主な要因となって起こる病気の予防には，病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。  (ｳ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には，適切な運動，栄養の偏りのない食事をとること，口腔くうの衛生を保つことなど，望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。  (ｴ) 喫煙，飲酒，薬物乱用などの行為は，健康を損なう原因となること。  (ｵ) 地域では，保健に関わる様々な活動が行われていること。 | 1. 健康な生活と疾病の予防について，課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。   ア 　健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。  （ｱ ）健康は，主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また，疾病は，主体の要因と環境の要因が関わり合って発生すること。  （ｲ）健康の保持増進には，年齢，生活環境等に応じた運動，食事，休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があること。 | （１）健康な生活と疾病の予防について，課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。  ア 　健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。  （ｳ）生活習慣病などは，運動不足，食事の量や質の偏り，休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また，生活習慣病などの多くは，適切な運動，食事，休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できること。  （ｴ）喫煙，飲酒，薬物乱用などの行為は，心身に様々な影響を与え，健康を損なう原因となること。また，これらの行為には，個人の心理状態や人間関係，社会環境が影響することから，それぞれの要因に適切に対処する必要があること。 | （１）健康な生活と疾病の予防について，課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。  ア 　健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。  （ｵ）感染症は，病原体が主な要因となって発生すること。また，感染症の多くは，発生源をなくすこと，感染経路を遮断すること，主体の抵抗力を高めることによって予防できること。  （ｶ）健康の保持増進や疾病の予防のためには，個人や社会の取組が重要であり，保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また，医薬品は，正しく使用すること。 |
| **保健** | **思考力・判断力・表現力等** | － | （１）  イ　健康な生活について課題を見付け，その解決に向けて考え，それを表現すること。 | （２）  イ　体がよりよく発育・発達するために，課題を見付け，その解決に向けて考え，それを表現すること。 | （１）  イ　心の健康について，課題を見付け，その解決に向けて思考し判断するとともに，それらを表現すること。 | （３）  イ　病気を予防するために，課題を見付け，その解決に向けて思考し判断するとともに，それらを表現すること。 | （１）  イ 　健康な生活と疾病の予防について，課題を発見し，その解決に向けて思考し判断するとともに，それらを表現すること。 | （１）  イ 　健康な生活と疾病の予防について，課題を発見し，その解決に向けて思考し判断するとともに，それらを表現すること。 | （１）  イ 　健康な生活と疾病の予防について，課題を発見し，その解決に向けて思考し判断するとともに，それらを表現すること。 |
| **保健** | **知識** | － | － | － | 1. けがの防止について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。   ア　けがの防止に関する次の事項を理解するとともに，けがなどの簡単な手当をすること。  (ｱ) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には，周囲の危険に気付くこと，的確な判断の下に安全に行動すること，環境を安全に整えることが必要であること。  (ｲ) けがなどの簡単な手当は，速やかに行う必要があること。 | － | 1. 心身の機能の発達と心の健康について，課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。   ア 　心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに，ストレスへの対処をすること。  （ｱ）身体には，多くの器官が発育し，それに伴い，様々な機能が発達する時期があること。また，発育・発達の時期やその程度には，個人差があること。  （ｲ）思春期には，内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また，成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。  （ｳ）知的機能，情意機能，社会性などの精神機能は，生活経験などの影響を受けて発達すること。また，思春期においては，自己の認識が深まり，自己形成がなされること。  （ｴ）精神と身体は，相互に影響を与え，関わっていること。欲求やストレスは，心身に影響を与えることがあること。また，心の健康を保つには，欲求やストレスに適切に対処する必要があること。 | 1. 傷害の防止について，課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。   ア 　傷害の防止について理解を深めるとともに，応急手当をすること。  （ｱ）交通事故や自然災害などによる傷害は，人的要因や環境要因などが関わって発生すること。  （ｲ）交通事故などによる傷害の多くは，安全な行動，環境の改善によって防止できること。  （ｳ）自然災害による傷害は，災害発生時だけでなく，二次災害によっても生じること。また，自然災害による傷害の多くは，災害に備えておくこと，安全に避難することによって防止できること。  （ｴ）応急手当を適切に行うことによって，傷害の悪化を防止することができること。また，心肺蘇生法などを行うこと。 | 1. 健康と環境について，課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。   ア 　健康と環境について理解を深めること。  （ｱ）身体には，環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は，健康に影響を及ぼすことがあること。また，快適で能率のよい生活を送るための温度，湿度や明るさには一定の範囲があること。  （ｲ）飲料水や空気は，健康と密接な関わりがあること。また，飲料水や空気を衛生的に保つには，基準に適合するよう管理する必要があること。  （ｳ）人間の生活によって生じた廃棄物は，環境の保全に十分配慮し，環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。 |
| **思考力・判断力・表現等** | － | － | － | （２）  イ　けがを防止するために，危険の予測や回避の方法を考え，それらを表現すること。 | － | （２）  イ 　心身の機能の発達と心の健康について，課題を発見し，その解決に向けて思考し判断するとともに，それらを表現すること。 | （３）  イ 　傷害の防止について，危険の予測やその回避の方法を考え，それらを表現すること。 | （４）  イ 　健康と環境に関する情報から課題を発見し，その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。 |